

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	マザーズ森田		
○保護者評価実施期間	2025年 1月 7日		2025年 1月 24日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	29名	(回答者数) 27名
○従業者評価実施期間	2025年 1月 7日		2025年 1月 24日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数) 6名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 2月 15日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	こどもの活動等のスペースが十分に確保され、適切な数の職員のを配置し、支援にあたっている。	子ども達が過ごしやすいように学習室とプレイルームを分け、わかりやすいすごし方のルールを定期的に伝えている。机やロッカーの配置を定期的に見直し、落ち着いて、安全に活動や学習に取り組めるようにしている。	事業所内の危険個所の共有、改善点・改善案の共有を終礼を通して職員間で行う。保護者会等で教室内を見ていただき、意見をもらう。
2	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われている。	朝礼の時間を利用し、職員が放課後等デイサービスガイドラインや5領域への理解を深められるよう勉強会を実施している。個別支援目標に対する支援の内容を保護者に共有するようにしている。	朝礼だけでなく、職員の半年、年間の自己研鑽に「療育の質」を高めるための学習の課題を設ける。療育についての悩みや相談、検討を朝礼・終礼の時間を使って行う。
3	子ども達が安心して通所してくれている。	終礼時にヒヤリハットを必ず共有している。定期的に交通安全のチェック、送迎車の安全管理を行っている。	ヒヤリハットでは交通事故以外にも、事業所内での怪我や事故の事例共有を行う。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会が少ない。	放課後等デイサービス事業所同士の交流の回数は増やしてきたが、児童館や児童クラブとの交流は無かった。他事業所との交流に参加した児童の保護者には今日の様子等で交流活動の内容を伝えていたが、参加されなかった児童や保護者に対しての情報発信が無かった。	児童館や児童クラブ、子ども園に交流会の打診を行う、他事業所との交流については契約者全員に内容の発信を行っている。
2	非常時等の対応の周知がされていない。	ガイドライン等で定められたマニュアルについては全て作成されており、訓練も行っているが保護者への周知が十分ではない。マニュアルをどこで確認できるのかを保護者に発信する必要がある。	避難訓練の実施報告は参加児童の保護者以外にも行う。マニュアルの保管場所、閲覧場所を全利用者に案内する。
3	個人情報の取扱いを注意する。	事業所で行っている個人情報の管理方法について保護者に周知できていない。	保護者会や面談の機会に保護者に伝えていく。職員が重要書類であること、個人情報であることが一目で分かるように色や印で書類を区別できる仕組みを作る。